

公益社団法人 砂防学会北海道支部

平成27年度

砂防学会北海道支部研修会を開催しました。

1. 概要

- (1) 日 時：平成27年11月13日（金）
- (2) 現 地：石狩川カムイコタン周辺
- (3) 場 所：北海道大学 農学部
- (4) 参 加 費：資料代として 会員無料 賛助会員 500円 非会員 1000円
- (5) プログラム：

10：00～11：30	砂防研究による現地研修会 場所：カムイコタン周辺
15：30～17：30	研修会 場所：北海道大学 農系総合研究棟 多目的室（W109） （1）カムイコタン天然ダムを想定した砂防学会北海道支部による災害対応についての討論会 進行：北海道支部副支部長 早川智也 （2）無人ヘリによる砂防調査 講師：農学部流域砂防学研究室 笠井美青 准教授 （3）近年の北海道に土砂災害をもたらした気象現象 講師：一般財団法人日本気象協会 松岡直基 気象予報士
18：00～	意見交換会

CPD 証明書発行：3.40 単位

2. 研修会記録

現地研修会参加者：会員 21 名、賛助会員 7 名、非会員 8 名

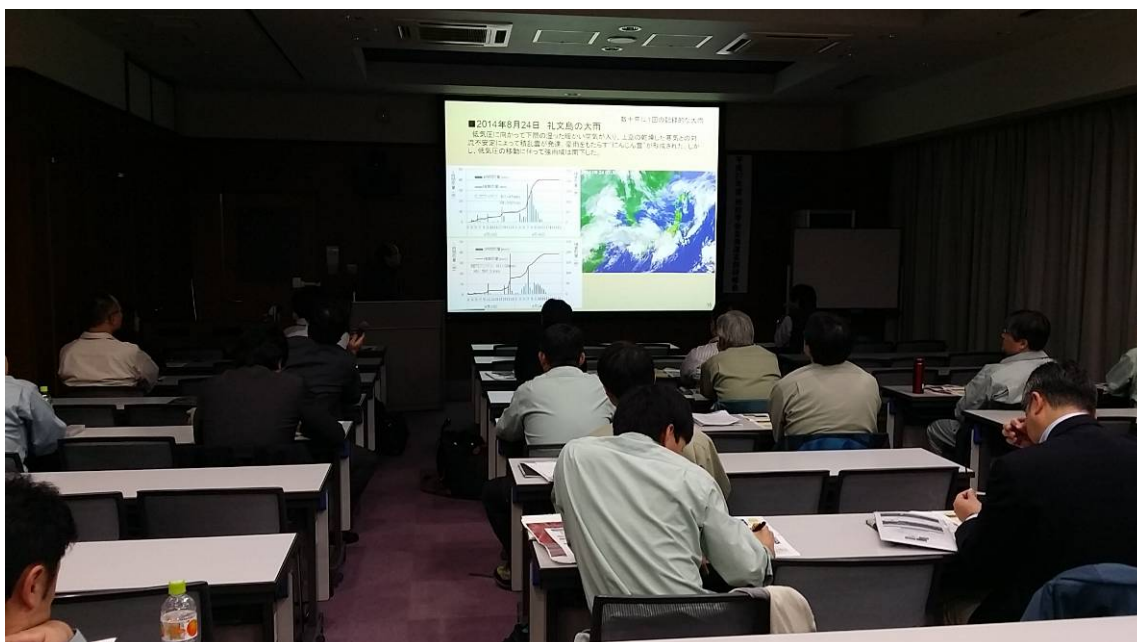
研修会参加者：会員 21 名、賛助会員 7 名、非会員 6 名

意見交換会：会員 19 名、賛助会員 1 名、非会員 2 名

現地研修会ではカムイコタンに分布する地すべりを調査し、地形的特徴から河道閉塞の痕跡の有無を議論しました。研修会では北海道支部の災害対応の在り方として、災害後比較的早い段階で調査を行う事を確認しました。無人ヘリによる砂防調査及び近年の北海道に土砂災害をもたらした気象現象として、調査技術及び素因となる降雨・融雪について研修を行いました。



現地研修会の様子：好天に恵まれ、有意義な議論が行われました。



研修会の様子：砂防という1つテーマでディスカッションしました。